

緑画と石の学習会

2024.1.13-1.26

会場：福島県立博物館

雪国ものづくり広場 なんだべや

開館時間：9:30~17:00

休館日：1月15日(月)、22日(月)

入場無料

4/7（金）今年度の連携について打合せ

5/10（水）季節のワークショップ（会津慈光こども園）

5/12（金）季節のワークショップ（慈光第二こども園）

コヒガンザクラの下にゴザを敷いて寝転んだり芝生の上を駆け回って季節を五感で感じたあと、新緑の葉っぱや黄色や紫の小花で「緑画」(*)を描きました。葉っぱやお花が意外な色に変化することにびっくり。



*「緑画」はアーティストの村山修二郎さんが考案した生の植物を直接紙に擦りつけ絵を描く制作方法です。

6/21（水）石の学習会Ⅰ（会津慈光こども園）

6/23（金）石の学習会Ⅰ（慈光第二こども園）

常設展部門別展示室（自然）の観覧のあと、クジャク石を乳鉢ですりつぶしてニカワ液とまぜる「岩絵の具」づくりを体験。キラキラした雲母も使って絵を描きました。固い石が色鮮やかな絵の具になって、画用紙に広がりました。



7/20（木）常設展観覧「けんぱくたからものカルタ」

（会津慈光こども園）（慈光第二こども園）

「けんぱくたからものカルタ」を使って事前学習をしてくれたみなさんが、そのカルタを持って常設展展示室にある「たからもの」をスタンプラリー形式で探しました。クラスのみならず協力してたくさんの「たからもの」を発見できました。

10/31（火）石の学習会Ⅱ（会津慈光こども園）（慈光第二こども園）

自然分野の学芸員が「東山の柱状節理」見学のゲストティーチャーになりました。目の前に広がる自然が作りだした雄大な景色についてわかりやすく解説。子どもたちの疑問に答えました。

1/13（火）～26（土）博物館でみんなの絵を展示します。

福島県立博物館より

福島県立博物館は、誰もが使いやすい、楽しい学びの場になれるよう様々な試みをしています。その一つとして小さなお子さんたちに気兼ねなく博物館を楽しんでもらえるような取り組みをいくつか行っています。

会津慈光こども園、慈光第二こども園（学校法人慈光学園）とは、5年以上にわたって連携してきました。

今年度も園の先生方と福島県立博物館の学芸員・専門員が相談して、学習プログラムやゲストティーチャー(*)の年間の予定をたてました。春の「季節のワークショップ」で博物館デビュー。夏のお泊り保育時には「けんぱくたからものカルタ」を使ったスタンプラリー方式で常設展を観覧。夏と秋には長年取り組んでいる「石の学習会」。

今年度は「季節のワークショップ」でも「石の学習会」でも「色」に焦点をあてて、絵を描いてみました。子ども達のまわりにはクレヨン、色鉛筆、ペン、マジック・・・手に持てばすぐに描ける「色」があふれています。でもそんな便利な「色」がない昔、人が工夫して生み出した自然から得られる「色」に子どもたちが出会いました。子どもたちの絵をご覧いただくと、私たちの身のまわりには豊かな「色」の世界があることを発見できると思います。ぜひ、会場にお越しいただき「色」の世界をお楽しみください。

*学習プログラム 福島県立博物館を団体利用するお客様向けにご要望に応じながら内容を構成しているプログラム。

*ゲストティーチャー 学校団体等に福島県立博物館の学芸員・専門員を派遣し授業などを行う事業